

時 評	石油学会の主観的よさ	京都大学 藤埴大裕	121
-----	------------	-----------	-----

座談会	サウジアラビアの動向に関する 現状分析および将来見通し（上）		122
-----	-----------------------------------	--	-----

元・帝京平成大学 須藤 繁,
エネルギー・金属鉱物資源機構 伊原 賢,
国際開発センター 畑中美樹,
サウジアラビア総合研究所 武藤弘次,
上智大学 辻上奈美江

2025 年度の日本の経済・エネルギー需給見通し —回復への道筋をうかがう 1 年に—	日本エネルギー経済研究所 柳澤 明	135
------------------------------------------------	-------------------	-----

2025 年度の日本経済は回復が鮮明になる。これと涼しい夏がせめぎあい、エネルギー消費の減少は小幅になる。販売量では電気が 2 年連続、都市ガスは 4 年ぶりに増加し、燃料油は減少がこの 4 年で最小になる。

有機物由来である石油と地球環境との密接な関係	出光興産 奥井明彦	141
------------------------	-----------	-----

石油は有機物由来で、地球環境により磨かれて生まれたものである。地球やその上に生息するわれわれ生物も炭素からできており、その炭素は地球環境を循環していることを理解してほしい。

使用済み石油化学合成用 Mo 系触媒からの 有価金属（Mo, Bi）回収	日本無機化学工業 吉田 栄	153
-----------------------------------------	---------------	-----

アクリロニトリルの合成触媒のソハイオ法使用済み触媒から Mo と Fe-Bi を分離し、Mo はモリブデン酸アンモニウムに、Bi は金属 Bi を経て硝酸ピスマスを製造する工程を解説した。

ボイラー排ガス中の CO ₂ を固定化した 炭酸塩のアスファルト舗装への適用検討	出光興産 澤山 拓・汲田章司・呉 悦樵	157
--------------------------------------------------------	---------------------	-----

カーボンニュートラルの実現には、CO₂ を資源として有効利用することが不可欠である。CO₂ を固定化した合成炭酸カルシウムを使用したアスファルト舗装の社会実装に向けた取り組みを紹介した。

本誌の内容・企画に関してご意見・ご要望を E-mail (book@sekiyu-gakkai.or.jp) でお寄せください。

地産地消型マイクロ風力発電の進化

.....パンタレイ 佐藤靖徳.....163

小型風力発電装置の技術開発や普及活動を通じ、環境意識の醸成、風車の社会的認知向上、持続可能なエネルギー社会の実現を目指す取り組みを紹介した。

大学におけるカーボンニュートラル化への取り組み（第1回）

国立大学法人埼玉大学

.....埼玉大学 黒川秀樹.....168

国立大学法人埼玉大学においてカーボンニュートラルの取り組みとして推進している省エネについて紹介するとともに、環境省「脱炭素先行地域」の取り組みである再エネ導入、研究開発・啓発活動なども紹介した。

目次裏統計 世界の石油資源 目次裏

おすすめの一冊 須藤 繁 著『随想 石油産業を歩いてみて

—石油の価値とノーブル・ユース—

.....元・東京大学 角和昌浩.....134

森田成昭・石井邦彦・廣井卓思 編著『相関分光法』

.....静岡大学 田代啓悟.....149

エネルギー知ってるはず!? (122) 宇宙太陽光発電システム (SSPS)140

在外研究 MAP Stony Brook University, Brookhaven National Laboratory

.....三菱ケミカル 下川隆一.....150

私事白書 社会人学生の奮闘記 ENEOS 秋口隼之丞.....152

讃嘆石油史! プレント, シェル 承前 沙外白雲.....156

最近始めたこと 辛さの限界に挑戦, ランニング162

ふるさと自慢 愛媛県(松山市), 神奈川県(相模原市)167

JPIJS だより 2024 年度 JPIJS 講演会参加報告

.....広島大学 飯居祐成・内田渡季也.....174

Journal of the Japan Petroleum Institute 第 68 巻第 2 号掲載論文175

学会の窓176

会告巻末

表紙写真: サウジアラビア・リヤド郊外の赤い砂漠 [画像提供: (同) サウジアラビア総合研究所],

表紙デザイン: 野田澄男, イラスト: トモ